

## 講義概要

科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
精神看護学概論	1 単位 (30)	1 年次 7 月	専任教員 (実務経験のある教員等)	30 (30)

### 科目目標

- 1 精神看護の基本的な考え方について理解できる。
- 2 精神保健医療福祉の変遷を、歴史的・社会的・医療的見地から理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
精神看護の 目的・対象、 役割と機能	1 精神看護の目的と意義を理解できる	1 社会環境の変化と社会病理 < 1 4 回 2 8 時間 > 2 精神看護とは 1) 精神保健と精神科看護 2) 看護の目的・対象 3) 精神看護の範囲 (第一次、第二次、第三次予防)	カプランの予防精神医学
	2 精神の健康の意義を理解できる	1 精神(心)とは 2 精神の健康 1) 精神の健康とその考え方 2) 精神の不健康、障害の考え方 3) 人間関係とパーソナリティの発達 3 精神の構造 1) 意識・前意識・無意識 2) エス (イド)・自我・超自我	
	3 精神看護の基盤となる理論を理解できる	1 フロイトの精神性的発達論 2 エリクソンの心理社会的発達 3 マーラーの母子分離個体化説 4 ストレスと対処行動 5 危機理論	
	4 ライフサイクル・生活の場における精神保健と危機的状況について理解できる	1 各発達段階における危機的状況 (1) 乳幼児期 (2) 学童期 (3) 思春期、青年期 (4) 成人期 (5) 老年期 2 精神保健と社会 (1) 家庭 (2) 学校 (3) 職場 (4) 地域 3 災害時地域精神保健活動 1) 被災者の精神保健 2) 災害救援者の精神保健 3) 心的外傷後ストレス障害 (PTSD)	
	5 リエゾン精神看護について理解できる	1 コンサルテーションの実際 2 リエゾン精神看護の意味と役割 3 医療の場の特性と看護者のジレンマ 4 メンタルヘルスとストレスマネジメント	
精神保健医療福祉の変遷と活動	6 精神保健医療福祉の歴史について理解できる	1 欧米における歴史 2 日本における歴史 3 精神障害者に関する法律と関連事件 4 患者の権利擁護 5 精神保健福祉法 1 精神保健医療福祉に関する資源の活用と調整	*施設見学予定 *国民衛生の動向  【評価】 筆記試験 (1h) 自己学習 (1h)
	7 地域精神保健活動について理解できる	1) 保健所、市区町村、精神保健福祉センター 2) 精神科ディケア 3) 活動にかかわる人々 2 精神保健医療福祉に関連する法制度 (1) 障害者総合支援法 (2) 心神喪失者等医療観察法 (3) 自殺対策基本法 (4) 発達障害者支援法 (5) 障害者虐待防止法 (6) 障害者差別解消法 等 3 心の健康に関する普及啓発 「こころのバリアフリー宣言」	

講義概要

科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
精神に障害をもつ人の理解	1 単位 (30)	2 年次 4 月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	30 (30)

科目目標

- 1 精神障害の特徴と治療を理解できる。
- 2 精神に障害をもつ人の看護の基本を理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
精神障害の特徴と治療の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主な精神症状を理解できる</li> <li>2 精神障害の分類と検査を理解できる</li> <li>3 主な疾患の特徴と治療を理解できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神障害と精神症状 &lt; 6回12h &gt; 1) 知覚 2) 思考 3) 自我意識 4) 感情 5) 意欲・行動 6) 意識 7) 知能 8) 記憶・・・各、障害</li> <li>2 精神障害の診断と分類 1) ICDとDSM 2) 生物・心理・社会モデル</li> <li>3 主な検査 &lt; 1回2h &gt; 1) 神経学的、身体的検査 2) 心理検査</li> <li>4 主な疾患の特徴 &lt; 1回2h &gt; 1) 症状性を含む器質性精神障害 2) 精神作用性物質使用による精神・行動障害 3) 統合失調症 4) 気分(感情)障害 5) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 7) パーソナリティ障害 8) 習慣および衝動の障害 9) 性同一性障害 10) 知的障害 11) 心理的発達の障害 12) 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害</li> <li>5 主な治療 1) 薬物療法 2) 心理社会的療法(認知行動療法等) 3) 電気けいれん療法 4) リハビリテーション療法 他</li> </ol>	
精神に障害をもつ人の看護の基本	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 精神に障害をもつ人の看護の基本を理解できる</li> <li>5 精神科看護の場とそれぞれの役割を理解できる</li> <li>6 精神に障害をもつ人の家族の看護を理解できる</li> <li>7 セルフケアの援助を理解できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神に障害をもつ人の理解 &lt; 6回12h &gt; 1) 看護の目標 2) 看護の役割 3) 観察と記録 4) 治療的環境の提供 (1) 病棟環境の調整 (2) 入院生活の援助 5) リスクマネジメント (1) 自殺企図 (2) 暴力、暴力予防プログラム(CVPPP) (3) 転倒 (4) 誤飲・窒息 (5) 誤薬 (6) 院内感染 (7) 離院 (8) 火傷・火事 6) 多職種との連携 7) ケース(ケア)マネジメント</li> <li>2 生きる力と強さに着目した援助 ・レジリエンス・リカバリ・ストレグス・エンパワメント</li> <li>1 外来での看護(精神科救急含む) 2 病棟での看護</li> <li>3 リハビリテーション 1) 退院への意思を育む 2) 退院後の生活の準備 3) 地域支援ネットワークの構築</li> <li>4 地域での看護 1) 生活を支える考え方 2) サービスや社会資源 ・アウトリーチ(包括型地域支援プログラム(ACT)、訪問看護) ・精神科デイケア</li> <li>1 家族の理解とその援助 1) 家族看護エンパワメントの考え方 2) 家族にとっての病気体験と感情表出(EE)</li> <li>1 オレム・アンダーウッド看護モデル 1) セルフケア不足理論 2) 6つの普遍的セルフケア要素とセルフケアレベル</li> </ol>	<p>[想起] ・ICF ・権利擁護 (アドボカシー)</p> <p>【評価】 筆記試験 (1h) 自己学習 (1h)</p>

## 講義概要

科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
精神看護の 基本技術	1 単位 (15)	2 年次 5 月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	1 5 (1 5)

### 科目目標

- 1 患者－看護師関係成立発展の技術を理解できる。
- 2 精神の健康増進・回復の技術を理解できる。
- 3 再構成の技術を用いた自己洞察の意義を理解し、再構成が実施できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
精神看護技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者－看護師関係成立発展について理解できる</li> <li>2 精神の健康増進・回復の援助方法を理解できる</li> <li>3 再構成の意義を理解し実施できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペプローの人間関係論 &lt; 4回 8 h &gt;               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護とは</li> <li>2) 患者－看護師関係の 4 つの局面</li> <li>3) 看護の役割</li> </ol> </li> <li>2 精神看護におけるコミュニケーション技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーションの原則</li> <li>2) コミュニケーション技法</li> <li>3) アサーティブ</li> <li>4) 患者－看護師のコミュニケーションの実際</li> </ol> </li> <li>2 看護カウンセリング               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護カウンセリングの目的</li> <li>2) 看護カウンセリングの技法</li> <li>3) 看護カウンセリングのプロセス</li> <li>4) 看護カウンセリングの実際</li> </ol> </li> <li>3 心理教育的アプローチ               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心理教育とは</li> <li>2) 心理教育の対象</li> <li>3) 情報提供と問題解決セッション</li> <li>4) 心理教育の実際</li> </ol> </li> <li>4 S S T (生活技能訓練)               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ストレス 脆弱性－対処技能モデル</li> <li>2) S S T の目的・対象</li> <li>3) S S T の種類                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本訓練モデル</li> <li>(2) 問題解決技能訓練</li> <li>(3) モジュールを用いた訓練</li> </ol> </li> <li>4) S S T の実際</li> </ol> </li> <li>1 再構成とプロセスレコード               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己洞察の意義</li> <li>2) プロセスレコードの目的・方法                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ペプロー</li> <li>(2) オーランド</li> <li>(3) ウィーデンバック</li> </ol> </li> <li>3) 再構成の実際</li> </ol> </li> </ol>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     演習① &lt; 1回 2 h &gt;                      患者－看護師間のコミュニケーションの実際                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     演習② &lt; 1回 2 h &gt;                      S S T の実際                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     演習③ &lt; 1回 2 h &gt;                      再構成の実際                 </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【評価】 筆記試験 (1 h)</p>

## 講義概要

科目名	単位数 (時間数)	開講時期	講師名	時間
精神に障害をもつ 人の生活と看護	1 単位 (30)	2 年次 9 月 1 0 月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	3 0 (3 0)

### 科目目標

- 1 精神に障害をもつ人の生活の特徴を理解できる。
- 2 精神に障害をもつ人と家族の看護を理解できる。
- 3 統合失調症をもつ人の特徴に合わせた看護の展開方法を事例を通して理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
精神に障害 をもつ人の 生活と看護	1 精神に障害を もつ人の生活 の特徴と家族 を含めた看護 を理解できる	1 精神に障害をもつ人の生活と看護 < 8回16h > 1) 統合失調症をもつ人の生活と看護 (1) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント (2) 経過に応じた関わり (3) 主な精神症状と看護 (4) 薬物療法と看護 (5) 電気けいれん療法と看護 (6) リハビリテーション療法と看護 (7) 家族への援助 2) 気分(感情)障害をもつ人の生活と看護 (1) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント (2) うつ状態にある人の生活と看護 (3) 躁状態にある人の生活と看護 (4) 薬物療法と看護 (5) 認知行動療法と看護 (6) 家族への援助 3) 強迫性障害をもつ人の生活と看護 (1) 不安と防衛機制 (2) 強迫症状と看護 (3) 家族への援助 4) 操作・試し行為をもつ人の生活と看護 (1) 成長発達の特徴 (2) 操作・試し行為と看護 (3) 家族への援助 5) 摂食障害をもつ人の生活と看護 (1) 成長発達の特徴 (2) 摂食障害と看護 (3) 家族への援助 6) アルコール・薬物依存をもつ人の生活と看護 (1) 離脱症状と看護 (2) リハビリテーション(ARP)と看護 (3) 家族への援助 7) てんかんをもつ人の生活と看護 (1) てんかん発作と看護 (2) 家族への援助	レクリエーション含む
事例展開	2 統合失調症を もつ人の特徴 に合わせて事 例展開できる	2 精神の障害に応じた看護 <b>演習</b> < 6回12h > 1) 統合失調症をもつ人の事例展開 (1) 情報の整理とセルフケアアセスメント (2) 全体像、看護介入の焦点化 (3) 長期目標・短期目標、看護計画の立案	<b>【評価】</b> 自己学習 (1h) 筆記試験 (1h)